

草津市教育委員会会議録

令和5年8月定例会

(8月22日開催)

草津市教育委員会

出席委員	教育長	藤田雅也
	委員	松嶋徹也
	委員	小辻寿規
	委員	我孫子智美
	委員	森登世美

事務局出席者	教育部長	増田高志
	教育部理事（学校教育担当）	菊池誠
	教育部副部長（スポーツ担当）	田中歩
	教育部副部長（図書館担当）兼 図書館長	二井治美
	教育部副部長（学校教育担当）兼 学校教育課長	上原忠士
	教育総務課長	吉田克己
	歴史文化財課長	中立輝
	学校教育課専門員	奥村健二
	教育総務課課長補佐兼係長	永田厚子

令和5年8月草津市教育委員会定例会会議 次第

令和5年8月22日 午後3時00分開会
(草津市役所 2階 特大会議室)

日程第1 会期の決定について

日程第2

付議事項

議第40号 令和6年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて

日程第3 7月定例会会議録の承認について

日程第4 教育長報告

日程第5

付議事項

議第41号 草津市図書館協議会委員の委嘱につき議決を求めることについて

日程第6

報告事項 (3件)

- (1) 草津市国指定史跡整備懇話会開催要綱の制定について
- (2) 草津市国指定史跡整備懇話会委員の委託について
- (3) 寄付の受け入れ報告について

開会 午後3時00分

藤田教育長

それでは、ただいまから草津市教育委員会8月定例会を開会いたします。

—————日程第1—————

藤田教育長

日程第1「会期の決定について」であります、本日1日限りとしたいと思いますが御異議はございませんか。

各委員

— 異議なし —

藤田教育長

異議がないようでございますので、8月定例会は本日1日限りといたします。

なお本日お諮りいたします「議第40号令和6年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて」は、採択協議会の申し合わせにより、これよりすぐに議事に入る必要がございますので、本日の日程は、配付されております次第に基づき進めさせていただきます。

—————日程第2—————

藤田教育長

次に、日程第2、付議事項に移ります。

「議第40号令和6年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて」を審議いたします。

事務局の説明を求めます。

教育部副部長兼
学校教育課長

「議第40号令和6年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて」学校教育課の上原が御説明申し上げます。

公立の各小中学校で使用する教科用図書の採択につきましては「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定により、採択地区協議会が設置され、この協議会で行われた教科用図書選定の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択する事になっております。

議案書の16ページから17ページを御覧下さい。

本市が所属します教科用図書第二採択地区協議会の規定を載せ

ております。この教科用図書第二採択地区協議会は、草津市、守山市、栗東市、野洲市、甲賀市、湖南市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において、第二採択地区内の各市立小中学校で使用する教科用図書が選定されます。

次に議決を求めることならびに第二採択地区での教科用図書選定までの経過について説明いたします。18ページが本年度の経過となっております。

本年度は小学校用教科書全教科の採択替えの年であり、さらに小中学校特別支援学級一般図書の採択替えを行います。現在までに協議会を3回、代表協議会を1回、幹事会を3回開催いたしました。併せて5月29日から7月10日にかけて、各市より選出した委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。それを受けまして7月31日と8月3日の協議会では委員長より調査報告を受け選定し、8月3日には第二採択地区での議決を行いました。資料の1ページからが本年度の調査報告書となります。

小学校は、議案書の5ページから6ページが通常学級で使用するものの一覧です。7ページから10ページは、特別支援学級で使用するものの一覧です。特別支援学級で使用するものにつきましては、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができます。知的障害学級用については、社会科において「はじめての日本のれきしのえほん」、外国語におきましては「CD付楽しく歌える英語のうた」の2冊が新たに選定されました。

続いて、中学校は11ページから12ページが通常学級で使用するものの一覧と理由です。中学校特別支援学級で使用するものの一覧は13ページから15ページです。社会科において「楽しく学んで力がつく！こども世界地図」「はじめての日本のれきしえほん」、理科において「科学のなぜ？新図鑑」の3冊が新たに選定されました。なお、弱視学級につきましては、小中学校とも通常学級で採択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本であります点字版の教科用図書を選定しております。

続きまして、協議会において調査委員長より報告されました調査結果の概要につきまして説明いたします。

調査の観点は教科によって数は異なりますが、知識および技

能、思考・判断力、表現力、学びに向かう力、人間性などに関わる内容の取扱いの観点、資料や学習指導にかかわる構成等にかかわる観点、第二採択地区の観点の三つの項目でそれぞれ調査を行っております。第二採択地区の観点といたしましては、多様性の尊重、人権尊重、世界平和、いじめ、環境等の現代的な諸課題の工夫や配慮がなされており、第二採択地区の子どもたちにとって学習しやすいかどうかということです。

まず、小学校の使用教科用図書の調査結果の概要を御説明いたします。

報告書にございます「様式1」で調査研究観点と観点の内容を、「様式2」で発行者ごとの観点別評価をABCで評定したものの、「様式3」で教科書発行者ごとの特色について研究結果を記載しています。

それではまず国語と書写の2教科を説明させていただきます。

始めに、国語でございますが、調査を行いました教科用図書は、「東京書籍」「教育出版」「光村図書出版」の3社から発行されたものです。

単元指導における学習活動が明確であり、年間指導の中でも当該学年の系統立てた学びを明示してある。また前学年で学んだことを再度掲示することで発達段階や児童の実態を考慮しながら言葉を敏感に、また柔軟に捉えさせようとしている。育成をめざす資質・能力を核とした言語活動が設定、児童の主体性を促すような学習活動が例示されている。という点で、「光村図書出版」が最も適切であるという結果になりました。

この教科書の特徴は、教材の扉絵に書かれている、めあてや既習内容、リード文が簡潔なため、子どもたちが多過ぎる情報を持たずに作品と出会うことができることです。教科書の巻末には、国語の学習用語が掲載されており、既習の知識・技能を活用したり、思考を深めたりする時に便利でもあります。

また、各学年の教科用図書につけられているサブタイトルがあり、それぞれタイトルに込められた意図や思いが、内容全般に反映されていました。

子どもたちの学校行事や実生活につながる言語活動が多く、各単元での内容項目のポイントが明確に示されています。その達成のために教師が工夫する余地が残されており、子どもの理解の様子などを見ながら、適宜発問等を組み替えることができる構成に

なっていました。

以上のことから、国語については子どもたちが「読む」「書く」「話す・聞く」の確かな国語力と豊かな感性を身につけることができる教材が、小学校6年間で系統的に取り組めるように配置されている、光村図書発行の教科用図書が最も適切であるという結果になりました。

次に、書写でございます。

「東京書籍」「教育出版」「光村図書出版」の3社から発行された教科用図書から調査を行いました。

1ページの手本数が厳選され、学習テーマにじっくり向き合いながら、ねらいを焦点化した学習が展開できる工夫をしている。各学年で「ねらい」や「たいせつ」、3年生以上で「学習の進め方」が示されており、見通しをもって児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。単元の導入で文字を比較して課題意識を持たせていることも特徴的である。という点で「光村図書出版」が最も適切であるという結果になりました。

この教科書の特徴は、手本の文字は均整が取れていて美しい文字です。学習のねらいを焦点化し、その学習に必要な情報を効果的に示すことで、書写の力を育成できるところにあります。

調査結果の様式2の評価にありますように東京書籍と光村図書出版が多くの観点において優れていました。

そこで、調査委員会ではこの2社について詳しく吟味されました。

観点6で「B」評価の東京書籍と観点7で「B」評価の光村図書出版の理由についてですが、観点6につきましては1、2年生で手本に使用されている文字の色調が淡く、特に青やグレーの色が見にくい点によります。3年生以上でも例示の文字に使用している水色、ピンクの色が薄いです。

光村図書出版の観点7でBになっている理由ですが、デジタルコンテンツについてです。運筆を示す動画は無音でナレーションがなく、注視してポイントをつかむ必要があります。集中が途切れがちな児童を散漫にさせてしまうおそれがあると考えます。

どちらの観点結果を重要視すべきか考えましたところ、観点7のデジタルコンテンツは、補助的に活用することが多いものであることから、書写の教科特性から勘案すれば、観点7よりも観点

6を重要視すべきと判断し、「光村図書出版」が最も適切であるという結果になりました。

国語と書写については以上でございます。

藤田教育長

国語と書写について御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

松嶋委員

国語の教科書の説明の中で、光村図書出版の巻末には既習の知識・技能を活用して、思考を深めたりする時に便利と説明がありました。具体的などの項目がそこにあたるのか説明をしていただけますか。

教育部副部長兼
学校教育課長

具体的には「季節の言葉」「伝えられてきた文化」「声に出して読もう」など四季折々の言葉や古典作品、季節に合わせた暮らし・行事・旬のものを楽しみながらイラストや写真とともに掲載されているところにあります。従来から大切にされてきた、またこれからも大切にしていきたい言語や文化がバランスよく配置されているのが光村図書出版の巻末になります。

森委員

光村図書出版は、前学年からの学びのつながりが分かるようになっています。6年生の教科書で12ページから13ページを見て下さい。上に6年生で学ぶこと、下に5年生で学んだことが示されています。それから38ページから39ページの単元の終わりに見通しを持つというページがあり、何を目標にしていくのか明確で子どもに分かりやすくなっていると感じました。子どもに目標がわかりやすいという事は、先生方にとっても授業が進めやすい工夫がされていると感じました。

我孫子委員

書写の説明で、光村図書出版の特色は、学習のねらいを焦点化し、学習に必要な情報を効果的に示すことで書写の力が育成できるとありましたが、具体的にどういうことですか。

教育部副部長兼
学校教育課長

例えば、紙面の教材の文字について学ぶ視点を大きく取り上げ、手本や例示を厳選し、導入で二つの文字の比較をさせることで学習課題をつかませ学習のめあてを明解にしています。3年生の教科書28ページ、29ページを御覧下さい。こちらでは動物

のイラストや擬態語を効果的に用いて、点・画の書き方、力の入
れ方が直感的に3年生の子どもにも理解できる工夫がされていま
す。カラーユニバーサルやユニバーサルデザインの面からも細や
かな配慮がされています。

藤田教育長

では次の科目をお願いします。

教育部副部長兼
学校教育課長

続きまして、社会でございます。

「東京書籍」「教育出版」「日本文教出版」の3社から発行され
た教科用図書から調査を行いました。調査によると、全学年教科
書が合冊になっているため、社会的事象の相互の関連、意味を多
角的に考える力の育成に向いている。写真やイラストの印刷につ
いては鮮明で、読み取りやすく児童の興味関心を高めることがで
きる。江戸時代の身分ごとの円グラフでは、百姓や町人からも差
別された人々と明記されている。

また、明治時代の解放令という用語が唯一用いられている。とい
うことから、「日本文教出版」が最も適切であるという結果になり
ました。

学習指導要領で提示された3観点のいずれにおいても工夫され
ています。社会科学習においては大切な資料である写真やイラスト
は鮮明で、読み取りやすくなっています。

また、人権問題や平和学習においては丁寧に記載されており、
様々な角度から考える事ができるようになっております。

観点1から3並びに構成や使いやすさ、デジタルコンテンツの
いずれにおいても高い評価となりました。特にSDGsについて
の学びや、デジタルコンテンツによる授業展開への広まりや深ま
りが可能となる点が特長といえます。

続きまして、地図でございます。

「東京書籍」「帝国書院」の2社から発行された教科用図書か
ら調査を行いました。調査により、地図活用の技能を生かせるよ
うに、地図の概念から、方位や地図記号、索引などの地図の使い
方まで巻頭14ページにわたり、スモールステップで丁寧に解説
し地図を活用する力を身に付けられるようになっている。地形の
様子が捉えやすくなるように、土地の高さによる色分けにより立
体感のあふれる地図となっている。という点で、「帝国書院」が
最も適切であるという結果になりました。

観点2では、地図についての課題が東京出版70問に対して帝国書院が100問と豊富なうえ、地図の彩色も立体感を感じさせます。

また、観点5におきましても帝国書院はSDGsに関連する写真や図表を全編通して設けているのに対して、東京書籍は一部に記載されている程度です。

観点6についても、東京書籍の表やグラフは色合いが濃く、多くの情報が目に入り過ぎるという課題もうかがえます。以上のことから、帝国書院が最も適切であるという結果になりました。

社会・地図に関しては以上でございます。

藤田教育長

ただいまの、社会・地図に関しまして御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

小辻委員

社会科ですが、例えば5年生ですと三重県鈴鹿の工場であるとか彦根市のことですか、京都の観光のことも含めて取り上げられています。生徒たちに身近な事が取り上げられていて、イメージがわかりやすいと思うので良いと思います。

あとは、SDGsのコーナー単元後にあり、社会とのつながりが見えやすく、単元をこえて理解しやすく良いと思います。

松嶋委員

地図についてお伺いします。

地図帳の中にも生産量であったりとか、世界地図であったりとかデータが沢山集約されていますが、今回、2社を比較して、例えばデータの新鮮さなど比較してどうでしたでしょうか。

教育部副部長兼
学校教育課長

調査委員会の報告にも過去の数値を採用しているのが東京書籍です。帝国書院は最新の数値を採用している調査結果が出ています。

藤田教育長

次の教科をお願いします。

教育部副部長兼
学校教育課長

続きまして、算数でございます。

「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「新興出版社啓林館」「日本文教出版」の6社から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、基礎的・基本的な知識及び技

能を身に付けられるように、十分な練習量の問題が掲載されている。また、計算の型違いの問題などが水色の問題番号で示されているため、個々の習熟に合わせて取り組める。まとめや公式、性質を説明する言葉が詳しく丁寧に書かれていて、数学的な見方・考え方が「ひらめきアイテム」で意識できるようになっている。という点で「大日本図書」が最も適切であるという結果になりました。

大日本図書は、思考力・判断力・表現力を生かした一連の問題発見・解決の学習の流れになっていて、生活場面で算数を活用する問題も掲載されています。

デジタルコンテンツが豊富で、前学年の内容や主問題について、動画やアニメーションで確認できるようにもなっているなど、紙面とは別のアプローチで学習の理解を深めたり、技能を定着させたりできるようにもなっていて、操作性も問題ありません。

写真、イラストがバランスよく配置されており、登場人物が様々な立場の多様性を認めている内容になっており、またSDGsを扱った問題も掲載されています。

次に、理科です。

「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「信州教育出版」「新興出版社啓林館」の6社から発行された教科用図書から調査を行いました。なお信州教育出版「楽しい理科」につきましては、見本本の配本がなされませんでした。さらに、教科用図書自体が出版社の地元である長野県内の採択をめざして作成された教科書であるということから、今回、滋賀県の第二採択地区において調査はできておりません。様式2、3ともに斜線としておりますので御了承ください。このことから5社の調査により、児童の疑問、気づいたこと、考えたことを交流する場面で発表や話し合いを促しており、学習中の気づきを基にした児童の意見や考えの交流が深まるように工夫されている。フォント、カラーともに、ユニバーサルデザインの視点から配慮がなされており、全体的に文字が大きく読みやすくなっている。また、サイズはA4版と少し大きいながらも軽量化されており使いやすいという点で、「東京書籍」が最も適切であるという結果になりました。

全ての単元において、どの学習場面にもコンテンツを活用して児童の理解を深める工夫がなされております。また、SDGsや

防災といった今日的課題に対する意識が高まるコラムも充実しています。

以上、子どもの学びやすさと教員の指導のしやすさというところを大切にした教科書となっています。

次に、生活科です。

「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「信州教育出版」「光村図書出版」「新興出版社啓林館」の7社から発行された教科用図書から調査を行いました。

なお、「信州教育出版」は理科と同様の理由により調査いたしておりません。6社の調査により、学びが家庭で生かされるような家庭での会話がイラストで示され、実生活での行動を促している。「みつける」に関わる具体的な活動場面の写真やそれに伴う吹き出しが多く示され、「比べる」ための視点が観察記録例に記載されており、比較することを誘いかける言葉も多い。文字や絵、言葉による表現のバリエーションが多く、多様な表現活動に生かせる。という点で「東京書籍」が最も適切であるという結果になりました。

学習指導要領で示されました三つの観点においては、いずれも工夫されています。比較的優しい色使いで、かつ鮮明な写真や図が利用されており、大変見やすいという特徴がありました。また、家庭内での会話であるとか、家族とこんなことしたいなというような設定など、学んだことを家庭での活動につなげる、そういう工夫が大変たくさんありまして、表現の仕方のバリエーションも豊富にありました。

以上におきまして、生活科につきましては「東京書籍」が最も適切であるという結果になりました。

以上、算数、理科、生活についての説明を終わらせていただきます。

藤田教育長

算数、理科、生活についての御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

小辻委員

大日本図書に異議はないのですが、新興出版社啓林館もよいと思います。課題を教えてください。

教育部副部長兼

新興出版社啓林館の課題といたしましては、低学年では自ら問

学校教育課長	<p>いや見通しを立て、主体的・協働的によりよい解決に向かうことができる問題が設定されているのですが、その反面、中学年、高学年の3年生以上では、そうした設定が少なくなる傾向があります。さらに、日常生活と関連させる内容の扱いが少なく単元末に説明したり、考えを表現したりする問題数も少な目であったということが調査委員会からの新興出版社啓林館の課題ということでした。</p>
森委員	<p>大日本図書の「ひらめきアイテム」をもう少し詳しく教えて下さい。</p>
教育部副部長兼 学校教育課長	<p>4年生の291ページにはひらめきアイテムシールというのがございまして、こちらの方では大切な部分が示されています。分度器の使い方でありまして、ポイントをしっかり押さえながら、それが次の学習に生かされていくというように「ひらめきアイテム」がございまして。</p>
松嶋委員	<p>理科の学び方というページ、ここから問題が何なのかと把握してから、予想をして、計画をして、その後考えて実験結果から考えてまとめられています。小学校の頃からこの様にしっかり学んで、その上で、授業に取り組める形になっています。しかも図も表も写真もカラーで大きくて見やすい。本当にいい教科書と思います。</p>
我孫子委員	<p>私もこの教科書は見やすいと思いました。理科離れが今進んでいると言われていると思いますが、東京書籍が工夫されている点があれば教えて下さい。</p>
教育部副部長兼 学校教育課長	<p>身近な自然や暮らしから問題点を見出し、主体的・対話的な学びによって、科学的な見方、考え方を生かして解決できるように構成されているところが東京書籍の工夫点です。</p> <p>例えば、6年生の教科書61ページを御覧下さい。</p> <p>「問題をつかもう」というところで、児童の問題の見出し引き出す工夫、問題の発見につながるような工夫がされています。また62ページにキャラクターの吹き出しで思考する際の視点が示されています。気づきや考えが深まるような工夫がされています。以</p>

上のところが、理科の苦手な子どもにとっては視点が示されているところが工夫点とっております。

松嶋委員

生活科の教科書のデジタルコンテンツのQRコードが決まったところに載っていて分かりやすくいいと思いました。他に特徴はありますか。

教育部副部長兼
学校教育課長

デジタル情報につきましては、NHK for schoolの動画にすっといけるというものでして、独自のものも含めて大変多岐にわたっております。また、巻末に活動便利手帳がありまして、これも他教科と関連してございまして、すぐに使える、あるいはその後使える情報が多岐にわたって掲載されています。

藤田教育長

では、次の教科をお願いします。

教育部副部長兼
学校教育課長

続きまして、音楽です。

「教育出版」「教育芸術社」の2社から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、発達段階に応じた無理のない音域や歌詞の内容に配慮された教材であり、「共通事項」は特化することなく、表現及び鑑賞の活動と一体となっており、適切に扱われている。全学年において歌唱・器楽で扱う楽曲は四分音符・四分休符・八分音符・八分休符が中心に扱われており、表現の技能を高めるのに適している。という点で「教育芸術社」が最も適切であるという結果になりました。

この2社の調査評価の結果についてですが、特に観点1では、どちらも発達段階に応じた学習内容となっておりましたが、特に教育出版は、中・高学年において難易度が高い教材曲が含まれ、段階を追った知識理解を押さえる上で難しさを感じられました。

一方、教育芸術社は、観点1を意識した学習活動が数多く見られ、各学年にバランスよく配置され、題材や教材と的確に関連づけて身につけられるようになっていました。

観点2では、各社共、発達段階に応じた無理のない音域や歌詞の内容に配慮された教材となっております。しかし、使用する音符においては、教育出版は、中・高学年に難易度の高い楽曲がある一方、教育芸術社は共通事項の内容が表現及び鑑賞の各活動と一体となっており適切に扱われておりました。

以上のように、教育芸術社の教科書が観点1、2、7におきまして優れているという調査結果となりました。

続きまして、図画工作でございます。

「開隆堂出版」「日本文教出版」の2社から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、構成がすっきりしていて、児童にとって説明がわかりやすく、見やすい。児童の制作過程や試行錯誤の写真が多くあり、吹き出しなどで思考の部分を取り上げている。身近な物から見方を広げられる工夫がある。そのため、児童が表したいことについて発想や構想するヒントになっている。という点で、「日本文教出版」が最も適切であるという結果になりました。

観点2では、両社とも各学年で取り扱う材料や用具について適切に取り上げ、分かりやすく説明しています。

開隆堂出版は、児童の発達段階に合わせ道具について学べる工夫があります。しかし、題材面では紙粘土、紙パック等、同じような材料を使う活動が多い印象があります。

日本文教出版は、新しく出てくる用具について見開きで扱うなど、学習指導要領で重要視されている共通事項について適切に記載されています。また、用具の使い方についても「気をつけよう」が記載され、児童の安全面についても配慮されています。

以上、音楽、図画工作について説明を終わらせていただきます。

藤田教育長

では、音楽、図画工作について御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

我孫子委員

音楽についてですが、2社で比較されて特にポイントになったところを改めて教えて下さい。

教育部副部長兼
学校教育課長

様式2のABの評価のとおり、特に観点2が大きなポイントになっています。ここは技能についての調査ですが、例えば教育出版につきましても、3年生や5年生など中・高学年の子どもについてかなり難易度が高く、16分音符が中・高学年には多数使われています。16分休符も使われておりまして、技能を高めていくについては、子どもたちには辛いかと思われまます。敢えてそれ

を入れて速度の116というスピードのある曲を選択しています。音楽の得意な子どもにとってはリズムカルな曲はどんどん演奏できますが、音楽が苦手な子どもにとりましてはテンポのある曲を演奏するのは難しいとの調査結果でした。特に3年生、5年生の教科書にはいくつか使われておりましたので、どの子どもにも技能を高めていく事におきましては、教育芸術社の方が適しているという事になりました。

森委員

図画工作で、児童の安全面についても配慮されているというのは具体的にどういうところですか。

教育部副部長兼
学校教育課長

例えば、日本文教出版の3、4年生下の62ページを御覧ください。彫刻刀の使い方のところに、「刃の前に絶対に手を置かない」と書いてあります。イラストが描いてありますので、このように手を置くと手に彫刻刀が刺さるというような×(バツ)というような表現がリアルに書いてあります。

一方、開隆堂出版は「歯の前に手を出さない」と文で書いているだけで、実際の写真など具体的な例は記載されていません。

藤田教育長

次の教科をお願いします。

教育部副部長兼
教育総務課長

次に、家庭科でございます。

「東京書籍」「開隆堂出版」の2社から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、基礎的な技能の習得に関わる内容について、制作や調理の手順が横一列に写真やイラストで提示されており、文字や色で強調しているので見通しをもって学習することができる。応用の調理例や作品例の掲載が豊富で、発展的な学習や家庭での実践に活用できる。という点で「開隆堂出版」が最も適切であるという結果になりました。

観点7の題材の構成の仕方について、東京書籍は5年生、6年生、2年間を見通した展開・構成になっており、5年生が8題材、6年生が7題材、そしてそれらを通し番号で示しています。それにより2年間を見通した題材構成ができる良さがあります。

開隆堂出版は、5年生の学習を発展させて6年生の学習に向かうような構成になっております。学習する時期や季節に応じた配列になっており家庭科は生活と結び付けて考える場面が多いです

ので、時期や季節に合わせやすい開隆堂出版の方が良いのではないかという意見が多かったです。

デジタルコンテンツ、デジタル教材については東京書籍につきましては「トライシート」というのがあり、個別に考える場面ですとか話し合いの場面で、思考ツールの一つとして活用ができます。また、「食品図鑑」というのもありまして、多くの食材が紹介されていて、それを見ているだけでも食に興味を持ったりすることができ、大変興味を引く内容と意見がありました。

しかしながら、各ページのQRコードについてですが、必要な動画だけを取り出すという事が東京書籍の方はできず、実際に授業で使用するのは活用しにくいという意見がありました。一方、開隆堂出版はQRコードで読み取る動画が細かく分かれていて、大事な部分だけを見せたり、ポイントを絞って見せたりという活用ができるという意見が多かったです。

続きまして、保健です。

「東京書籍」「大日本書籍」「大修館書店」「文教社」「光文書院」「G a k k e n」の6社から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、家庭内等、身近でできる運動が多く記載されており、児童が実生活に生かしやすい。将来の夢につながるためには運動が必要など、自分の生活や健康における運動の必要性に触れながら学習が展開されている。毎時間ごとに1ページにわたる資料で、一目で学習課題がつかめる工夫がされている。例えば、感染症予防策のイラストを交えて順序立てているなど、一目で内容が分かりやすく理解が深まる。という点で、「東京書籍」が最も適切であるという結果になりました。

この教科書は、家庭内等、身近でできる運動が多く記載されており、児童が実生活に生かしやすい。加えて、第二採択地区観点では、毎回、学習の課題が書かれているため全ての児童が学習の流れをつかみやすくなっている。そして、肌の色の違いや、車いすの利用等が挿絵の中に多く使われている事で、多様性が重視されている事が伺えます。

以上のことから、保健は東京書籍が最も適切であるという結果になりました。

以上、家庭科、保健について説明を終わらせていただきます。

藤田教育長	<p>では、家庭科、保健についての御質問、御意見がございましたらお願いいたします。</p>
松嶋委員	<p>家庭科の教科書についてです。開隆堂出版の色使いが比較して良いと思います。毎回左下に学習のめあてが分かりやすく載っているの、生徒たちも先生たちにとっても、この單元ではこの勉強をしますっていうのが凄く分かりやすく作られていると思いました。</p> <p>両方の教科書に、「みそ汁の作り方」が載っておりますが、開隆堂出版は、使う道具が横一列に書かれていて、目で追いやすい造りになっていました。ただ東京書籍の方だと、横一列に書かれていると思ったら、上にいたりと何処に目をやればいいのか分かりにくかったです。先生が教えるにあたって、開隆堂出版の方が良いと感じました</p>
我孫子委員	<p>保健についてですが、東京書籍の評価が高かった理由を教えてください。</p>
教育部副部長兼 学校教育課長	<p>児童の生活場面から発問を工夫するなど、じっくり考える事で主体的に学習できる素地をつくろうとしているところ、他者に比べて行間のゆとり、イラストの配置など見やすくなるように工夫されている。書体や改行、文章中の太文字等、読解しやすいように工夫されている。また、書き込み欄に記入例がある。イラストを表す場面や状況が身近なものも多く捉えやすい。資料の部分で使用するイラストが優れている。また、二次元コードも、説明書きや動画資料に字幕がついているので、児童が理解しやすい工夫がなされているので、東京書籍が高い評価になっています。</p>
藤田教育長	<p>次の科目をお願いします。</p>
教育部副部長兼 学校教育課長	<p>次に、外国語でございます。</p> <p>「東京書籍」「開隆堂出版」「三省堂」「教育出版」「光村図書出版」「新興出版社啓林館」の6社から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により各單元が、段階的に言語活動を繰り返す、「話すこと（発表）」「書くこと」につながる構成となっています。各単元の導入に学習内容が明示され、児童が見通しを</p>

もって学習に取り組むことができる。2年間を通して、自分の事、そして地域、そして日本、そして世界というように視野が広がっていく設定になっている。環境問題や防災教育など、現代的な諸課題について取り上げられている。という点で「光村図書出版」が最も適切であるという結果になりました。

光村図書出版の「Here We Go!」では、観点3、4で、目次にあるゴールが分かりやすく、目次後のcan-do listもあり使いやすくなっています。また、各unitのストーリーに合わせてやりとりができるように設定されているので、実際の場面を想像して自分の考えや気持ちを伝えることができるようになっていきます。発表モデルを見ながら、スモールステップで発表まで進めることができ、発現例を見てそれを参考にかけるのも良いという評価でした。

最後に、特別の教科道徳でございます。

「東京書籍」「教育出版」「光村図書出版」「日本文教出版」「光文書院」「Gakken」の6社から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、中心発問と「見つめよう・生かそう」の2つの発問が書かれており、すっきりとした構成になっている。「ぐっと深める」では、話し合い活動の実践場面を写真で示されており、分かりやすいです。挿絵が子どもの発達年齢にあっていて見やすく読みやすくなっています。また、登場人物がわかりやすく記載されている。QRコードに心情メーターがあり、心情の変化を動かせることでわかりやすく使いやすい。という点で「日本文教出版」が最も適切であるという結果になりました。

日本文教出版は「いじめ防止」が最も重要なテーマとして位置づけられています。また、他教科との関連で学習がしやすい教材が多く配置されています。挿絵のわかりやすさや登場人物の明記を含め、発達段階に即した学習活動への配慮があり、特に入学当初の学習では、読むこと、書くことの負担が軽減されて学びやすくなっており、「心のベンチ」のページが要所に設けられ、教材で学習した事を基に現代社会の課題につなげて、多面的・多角的に考えを広げていけるように工夫がされています。末尾には二つの発問が書かれてあり、学習活動を促すすっきりとしたわかりやすい構成となっております。本出版社の特徴である道徳ノートについてですが、自分の考えを書いたり、学習や自己を振り返

ったりすることができるものです。

以上、外国語、特別教科道德の説明を終わらせていただきます。

藤田教育長

ただいまの、外国語、特別教科道德について、御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

小辻委員

外国語についてですが、グループ活動やペア活動などが盛り込まれていたり、対話中心で使いやすく子どもたちも学びやすいのでしっかり活用して欲しいと思います。

森委員

外国語について、現在使用している教科書会社と変更になりましたが、その決め手となったのはどの点でしょうか。

教育部副部長兼
学校教育課長

3、4年生の外国語科では言葉を大切に感じて、日本語とは違う外国語の音声に気づき、慣れ親しみ、外国語を通して身近な材料や話題を基に児童自ら思考し、状況や環境を理解した上で、目の前の相手や他者とのコミュニケーションを図ることが求められています。全ての観点で判断した時に光村図書出版が、オールマイティでバランスがとれているということが決定への大きな根拠となりました。また、第二採択地区独自の観点で比較した時に、他社に比べて総合的に漏れがないということが決め手です。

小辻委員

道德ですが、目次などが非常にわかりやすいので、子どもたちも勉強しやすいと思います。

びわ湖フローティングスクールをテーマに取り上げていたり、身近な題材が載っていて良いと思いました。

森委員

道德ノートについて、詳しく教えて下さい。

教育部副部長兼
学校教育課長

大日本図書の特徴である道德ノートで、自分の考えを書いたり、学習や自己を振り返ったりすることができるノートです。現行の物よりも、より使いやすく改善されて児童の実態に即した学習展開が期待できるものであります。また、発問例がなくなったことで学習展開の自由度が高くなったことや、振り返りからの深まり、自分事としてつながるような記述欄の工夫がされ使いやす

藤田教育長
教育部副部長兼
学校教育課長

くなっております。

次の教科をお願いします。

続きまして、小学校特別支援学級において2冊が供給不能となり、一般図書を中心に選定作業を行いました。その結果、次の2冊に決定しました。

1冊目が、社会科において、パイインターナショナルの「はじめての日本のれきしえほん」、外国語において「CDつき楽しく歌える英語のうた」の2冊が新たに選定されました。選定理由といたしましては、児童の生活と比べて考えやすい内容が絵で描かれていて、はじめて歴史を学ぶにあたって、それぞれの時代がイメージしやすい構成となっています。歌の世界をイメージしやすいイラストと共に、英語と日本語がわかりやすく記述されており、CDつきでリズムに合わせ身体全体で学べる工夫もされているなどの理由で選ばれています。

中学校特別支援学級の一般図書は3冊が供給不能となり、一般図書を中心に選定作業を行いました。その結果、次の3冊に決定しました。1冊目が、社会科において「楽しく学んで力がつく！こども世界地図」、2冊目が、社会科において「はじめての日本のれきしえほん」、3冊目が、理科において「科学のなぜ？新図鑑」が新たに選定されました。選定理由といたしましては、1冊目は、世界地図の概要からはじまり、地域別に世界の国々が紹介されている。また、子どもたちが興味を持ちそうなオリンピックや衣装などの話題がもりこまれており、生徒の好奇心を掻き立てる内容となっている。2冊目については、小学校でも一般図書に選定されていますが、支援学級の幅広い発達段階にある生徒の指導に適した図書であり、中学校においては、過去、現代と将来につなげる学習に活用できる。3冊目は生徒が興味を持った「なぜ」を核としながら、知りたい項目をともに、5つの分野から発達や理解度に応じて読み進めることができる構成となっている。以上の理由で、3冊が選定されております。

以上、小学校特別支援学級の2冊、中学校特別支援学級3冊の説明を終わらせていただきます。

藤田教育長

ただいまの、小・中学校特別支援学級の一般図書の説明につき

	まして、御質問、御意見がございましたらお願いいたします。
森委員	「はじめての日本のれきしえほん」の特長を教えてください。
教育部副部長兼 学校教育課長	<p>交流学級で社会科を学ぶ児童も多いですが、この図書は特別支援学級で社会科を学ぶものとして選定されております。</p> <p>家、服、食べ物、暮らしなど、児童の生活と比べて考えやすい内容が絵で描かれていて、初めて歴史を学ぶにあたって、それぞれの時代がイメージしやすい構成となっています。</p> <p>時代ごとに特徴的な道具や人々の暮らしなどについての解説も、拡大した絵と簡単な言葉で示されており、興味を持って学習に取り組むことができる工夫が見られます。時代の変化による人々の暮らしの変化が一目で分かるようになっており、児童が楽しく学べる図書です。</p>
小辻委員	「はじめての日本のれきしえほん」が、小中学校両方に選ばれた理由を教えてください。
教育部副部長兼 学校教育課長	<p>小学校でも一般図書に選定されていますが、支援学級の幅広い発達段階にある生徒の指導に適した図書であり、中学校においては、過去、現代、将来をつなげる学習に活用できると考えております。</p>
小辻委員	<p>要望なのですが、本としては非常にいいと思いますが、昭和の分け方が、前期と後期という分け方になっています。他の教科書はその様な使い方はされていないので、その辺は、注意して取り扱って欲しいです。</p>
我孫子委員	<p>小学校の外国語の「楽しく歌える英語のうた」で、中を見ると、手遊びや、皆で楽しくリズム遊びをしながら歌える聞き馴染みのある歌が沢山載っていて、楽しく学べるいい本だと思いました。</p>
森委員	「科学のなぜ？新図鑑」のタイトルの「なぜ？」とはどういうものなのですか。

教育部副部長兼
学校教育課長

タイトルの「なぜ？」ですが、生徒が興味を持った「なぜ？」を核としながら、知りたい項目を基に、五つの分野から発達や理解度に応じて読み進めることができる構成となっております。掲載されている「なぜ？」は、日常的な疑問が集められたもので、幅広い発達段階の生徒の知的好奇心に迫る内容で構成されています。

松嶋委員

「楽しく学んで力がつく！こども世界地図」で、支援が必要な生徒へどのような工夫がされて、どういう理由で選ばれたのか教えて下さい。

教育部副部長兼
学校教育課長

工夫ですが、見出しが各ページに大きく示されており、行間が適切で見やすく、全ての漢字にルビが振られています。

もう一点は、地域別にまとめており、州ごとに全体の地図が掲載されているので、世界の国の位置関係を把握しやすくなっているのがこの世界地図の特長です。支援が必要な子どもにとっては工夫点と思います。

小辻委員

地図帳が最新のものが出ていないのがありますが、少し古いと思いますので、学びの時にサポートしていただきたいです。

藤田教育長

それでは、以上で種目ごとの質疑の方は終了させていただきます。

「議第40号令和6年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて」をお諮りいたします。

令和5年7月31日および8月3日に開催されました、教科用図書第二採択地区協議会における選定結果に基づき令和6年度の草津市立各小中学校使用教科用図書を採択することに御異議はございませんか。

各委員

— 異議なし —

藤田教育長

異議なしと認めます。

議第40号令和6年度使用教科用図書の採択については、原案通り可決されました。

———日程第3———

藤田教育長

次に、日程第3、「7月定例会会議録の承認について」であります。あらかじめ事務局から配布され、熟読されていると思いますが、御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

藤田教育長

異議がないようですので、7月定例会会議録は承認されたものと認めます。

———日程第4———

藤田教育長

次に、日程第4「教育長報告」に移ります。

では、私の方から諸般の御報告をさせていただきます。

8月7日に市内の幼保、小中学校の経営層を対象に草津市学校経営管理研修会があり、「実効的な働き方改革で進める安心して働ける職場づくりと人材育成」をテーマに、大阪府枚方市教育委員会事務局の高山和子課長をお迎えして、グループワークも取り入れた研修が行われ、私も一緒に参加させていただきました。

研修を通してたくさんのヒントをいただきましたが、とくに印象に残ったのは「働き方改革に取り組める原動力は楽しさです！自分の人生も豊かになれる」という講師のお言葉です。今年度、働き方改革プランの抜本的な見直しに取り組まっていますが、次の総合教育会議で市長や教育委員の皆さんと働き方改革についての議論を行うとともに、現場の先生の方の御意見等をお聞きして、実効性のあるプランを策定する予定です。この取組によって、教師が働きやすく・働き甲斐のある職場環境の実現と、子どもたちの教育環境の充実の両方が達成できるよう、引き続き検討を進めてまいります。

次に、令和5年4月18日に実施されました令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、この度公表させていただきました。御承知のとおり、この調査は公立小学校6年生および中学校3年生を対象に実施されているもので、調査内容としては、教科に関連する調査では、小学生が国語と算数、中学生が国語と数学と英語が実施されました。生活習慣や学習環境等に関する調査

では、アンケート形式により学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面等について調査されました。調査結果について、教科に関する調査では小中学校の正答率が全ての教科で全国平均と滋賀県平均を上回る結果となりました。また、日頃の生活や学習習慣に関する調査については、全国よりも良い結果となった項目もありましたが、ポイント数が前年度より低下していたり、全国平均を下回る項目もいくつか見られました。調査結果の詳細について検証し、本市の成果と課題を踏まえた「6つの今後の手立て」を作成し、ホームページに掲載いたしました。今後、教育委員会ならびに各学校と連携・協力しながら、引き続き教育指導の充実、学習状況の改善等に取り組んでまいります。

以上で、終わらせていただきます。

松嶋委員

8月7日に学校経営管理研修会の中でも、後半だけ参加させていただきました。内容が知的障害の方の疑似体験をするという取組だったのですが、疑似体験はどのような肉体的、精神的に障害を抱えているのか実際に身近な道具と工夫で、実感を伴うような学びの場を作ってくださいまして、例えば、軍手を3重につけて折り紙を折ったり、そういった疑似体験をさせていただきました。指導をしていただいたキャラバン隊の方々も、凄く明るく・元気に教えていただける様子も拝見できました。例えば、小学生でも座学、テキストで学ぶより、実際に手を動かして学びにつながっていく教育の方法を取り入れていって、子どもたちの理解に努めようとする姿勢を後押しする取組につながっていいのではないかと感じました。

次に、8月17日に草津市のこどもサミットに参加させていただきました。こども基本法の制定に伴って始まったこどもサミットですけれども、今回で2回目となりましたが、前回と違う点として、司会進行を中学生が実施していたところが前回よりも改善された点かなと感じました。順調に進行も進みまして、サミットも無事に完了しまして、普段は他校の生徒同士で交流はあまりないと思いますので、自分たちの知らない取組等もあると思いますので、知らない景色を見ることができた生徒もいたのではないのかなと思いました。その上で、もう少しこうしたらいいのではないのかなと思った点をお伝えします。もうすでに実施している内容でしたら恐縮なのですが、サミットを実施する一週間前ですとか数

日前に各校の生徒会が用意した資料などを事前に全ての学校で共有をしておいて、質問の内容を事前に考えたりする時間を作った上で当日を迎えるとより建設的な取組ができるのではないかと思います。今回の話し合った結果を学校に持ち帰って、どのように生かしたかというところをまた教えていただきたいです。以上です。

小辻委員

8月7日の学校経営管理研修会に参加させていただきました。先生方のいろいろな意見交換がされていて、働き方改革の重要性を実感する事ができました。その中で、枚方市から来ていただいた講師の方がお話をされていたのが「草津市以外でも、滋賀県でもそのような話をしている」という事で、滋賀県でも他の先生方も意見交換等をする場を持つのは先生方に重要だと思いますし、先生方からすると草津市だけではなく他の都市とのつながりとかもあると思いますので、いい形で働き方改革の輪が広がっていくのを願って聞いておりました。

研修の二部では、「滋賀県手をつなぐ育成会びわこめだか隊」にお話をさせていただきました。非常にわかりやすく、簡単に障害についてお話しをしていただき、疑似体験ができたことが非常にいい経験でした。私自身も障害を含めてインクルーシブな研究をしていますので、知っている部分もありましたが、聞いていると、母親が多かったのですが自分たちの子どものため、他のお子さんのため、という子どもたちのためという目線が非常に強く、先生方にその思いが伝わっていたらいいなと思って聞いていました。もちろん先生方も分かっている方々もおられると思いますが、なかなかその環境に接する先生も少ないと思いますので重要だと思いました。

こどもサミットに参加させていただきました。中学生がいろいろな自治を考える場でよかったと思います。今後も続いて欲しいと思います。その上で、感じたことは生徒会が中心になったのですが、もっと生徒会を飛び越えたところ、いろいろな児童の方に参加していただきたいと思いました。自分たちの自治は生徒会だけが決めることではないと思っています。それぞれの生徒会もありますが生徒たち皆で作っていくのが本来の自治ですので、生徒会活動が遠いものではなく近いものであると実感して欲しいと思います。自分たちが学校の主役であると認識してもらうために、可

能であれば、これからはいろんな形で枠を増やすとか回数を増やしていただきたいです。いろんな生徒に参加していただきたいということと、他校の生徒から学ぶことであるとか、自分が伝える語りを言語化していくとかいろんなことができる機会ですのでより拡充していく方向で検討して欲しいです。以上です。

我孫子委員

8月7日に学校経営管理研修会に参加させていただきました。グループワーク等の体験をするのが今回の研修はとても多かったです。今までの研修は一方通行のことが多かったと思いますが、やはり体験するグループワークで実際に自分の考えている事を言葉にかえて共有することが、自分が分かっている曖昧だと感じることもあったりとか、他の方の意見を聞くのが意外と少ないですと先生方同士が話されていたりと研修が凄く盛り上がった印象があります。やはり気づきや、学びが多い研修でした。あとは、縦と横のつながりが深められたところもあるのではないかと思いますので、このような研修が今後も頻繁に行われたらいいと感じました。以上です。

森委員

8月7日に学校経営管理研修会に参加させていただきました。働き方改革について枚方市教育委員会の高山様から実践をお聞きしました。講演の中で注目したのは、教育委員会と各学校との関係性です。教育委員会に指示されてやっているのではなく、当事者意識をもって各学校の職員が自分たちで意識改革を改善していく様子が素晴らしいと感じました。それぞれの学校の働き方改革の実践を交流することで刺激し合いながら、さらに改革が進んでいるようでした。草津市の各校園所でも働き方改革の挑戦をより位置づけて欲しいと感じました。

研修は疑似体験を通して、知的障がい・発達障がいの特性について知ろうということで、びわこめだか隊の皆様の御協力の下、プログラムを実践いたしました。実際に自分がやろうとしてもなかなかできない、ということを経験することで、曖昧な言葉ではなく、より具体的に伝えること。それから視覚支援の大切さをより強く感じ、今回とても充実した研修となったのですけれども、草津市の就学前、小学校、中学校の各1校ずつでも日々工夫して挑戦されている園経営や学校経営の実践発表をお聞きしたかったなと感じました。

また、学校経営について報告していただく機会はあると思いませんけれども、夏のこの研修会で代表の校園所の実践発表を聞くこと、交流することで、お互いの刺激になり、様々な改革が進んで行くと感じました。また次年度の一つの意見としてお伝えさせていただきます。

それから8月17日に草津市のこどもサミットに参加させていただきました。中学生が自分の学校を魅力的な学校にするために、制服の変更や学校祭、体育祭、文化祭等に生徒たちの意見が反映できるよう、生徒会として取り組んでいたり、各校の課題、いじめや自転車マナー等についても自分たちにできることをやろうとしていたりする姿は頼もしく感じました。生徒たちの力は本当に大きくて、学校をいい意味で活性化していきます。諦めず、先生方と相談しながらチャレンジを続けて欲しいと思います。大切なのはこのサミットではなくて、このサミット後の各校の取組だと思うので、今後の取組を楽しみにしています。以上です。

藤田教育長

サミットについていろいろ御意見いただきましたけども、実はこのサミットでは、生徒指導に当たっていただく先生方も議論をしていただいております。その中でやはり子どもたちが、自分たちの学校をどう自分たちの手で良くしていくのかというところで教師としてどう関わっていくのかというふうなテーマで話をさせていただきました。教師たちは答えを出すのではなく、いろんな仮説を出してみたり、この場合どうするのがいいのか投げかけをしたりしながら、そういった中で、一つを作り上げていくようなブラッシュアップを先生方が支えていく話もありましたので、今、森委員さんからお話もありましたが、このサミットはサミットを開催することが目的ではなくて、それを持ち帰って各学校で子どもたちが中心になって、小辻委員さんがおっしゃる校内自治というものをどう高めていくのかという中で子ども基本法にも定められている子どもたちの意見表明権であるとか、合意形成をどうしていくのかといった主権者教育の部分にもつながってくると思いますので、持ち帰った後の活動に私も期待をしているところでございます。

以上で教育長報告については終了させていただきます。

藤田教育長

次に日程第5、「付議事項」に移ります。

「議第41号草津市図書館協議会委員の委嘱につき議決を求めることについて」を審議いたします。事務局の説明を求めます。

図書館長

付議事項、「議第41号草津市図書館協議会委員の委嘱につき議決を求めることについて」図書館の二井が御説明申し上げます。

資料19ページから21ページを御覧ください。

草津市図書館協議会委員を委嘱することにつき、議決を求めることについて、21ページに記載しております。

図書館法第14条、第15条ならびに草津市図書館設置条例第3条の規定に基づきまして委嘱しているところでございます。この度、任期満了に伴いまして、令和5年9月1日から令和7年8月31日までの2年の任期について、資料20ページのと通りの委員の委嘱をお願いいたしたく委員会の議決をお願いするものでございます。なお、公募委員につきましては、2名を募集いたしました。1名の採用という結果になりましたことから、引き続き募集をいたしますことを申し添えさせていただきます。

以上、誠に簡単ではございますが、御説明とさせていただきます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

藤田教育長

ただいまの説明につきまして、なにか御意見、御質問がございませんか。

小辻委員

今の話で公募委員のお話がありましたが、募集されている公募委員の方はどの枠で今回募集されましたか。

図書館長

公募委員につきましては、そちらの1、2、3、4と書いてあります条件に当てはまり、かつ応募条件を満たしている方でございましたらどの項目でも可能でございます。

小辻委員

最終的に区分としては、採用されたところに入ることですね。

図書館長

そのとおりでございます。

藤田教育長

議第41号について御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

藤田教育長

異議なしと認めます。

議第41号は原案通り可決されたものと認めます。

—————日程第6—————

藤田教育長

それでは続きまして日程第6「報告事項」に入ります。

事務局より、順次報告をお願いします。

歴史文化財課長

報告事項1と2につきまして、歴史文化財課の中立よりご報告申し上げます。

まず報告事項1の「草津市国指定史跡整備懇話会開催要綱の制定について」でございます。

資料は3ページでございます。

当該要綱については、本市の国指定史跡でございます史跡草津宿本陣および史跡芦浦観音寺跡の整備事業の内容について意見交換することを目的に懇話会を開催するものでございます。これまで史跡草津宿本陣と史跡芦浦観音寺跡については、それぞれ別に懇話会を設置しておりましたが、今般、両懇話会を統合し、業務の効率化を図るものでございまして、その必要事項について要綱を定めましたので御報告申し上げます。

次に、報告事項2「草津市国指定史跡整備懇話会委員の委託について」でございます。

資料は5ページでございます。

先の事項で御報告いたしました懇話会に関する委員委託でございまして、委員12名および所属任期は記載の通りでございます。また当該懇話会には史跡草津宿本陣と史跡芦浦観音寺跡それぞれの部会を設けておりまして各委員の該当する部会を記載しております。

以上簡単ではございますが、御報告とさせていただきます。よろしく願いいたします。

教育総務課長

続きまして報告事項3「寄付の受け入れ報告」につぎ続いて教育総務課の吉田が御説明申し上げます。

報告書は7ページでございます。

詳細につきましては、一覧表記載のとおりでございますが、寄付品目記載の図書著者御本人様から寄付いただきました。

寄付受け入れ報告につきましては以上でございます。

藤田教育長

「報告事項」について御質問、御意見がございましたら、お願いをいたします。

報告事項につきましては以上で終わらせていただきます。

それでは本日の議事は以上で終了となりますが、事務局ほかに何かございますか。

それではこれをもちまして8月定例会を終わらせていただきます。

閉会 17時00分